



澤田 裕之 議員(倉生会)
佐野市における
※SDGsへの取り
組みについて



Q これからの将来、人口減少、高齢化を
始めとして、自治体は取り組むべき
多くの問題を抱えている。これらの課題を
解決するための新たな方法として、今、
SDGs、いわゆる持続可能な開発目標の
利用が提案されている。佐野市における
SDGsへの取組、注力分野について伺いたい。

A 市長

本市では、第2次総合計画中期基本計
画に位置づけるため、現在、各施策と17の
ゴールの関連づけを行っています。

現在、新型コロナウイルス感染症への対応
と、令和元年東日本台風からの復旧・復興を最
優先に取り組んでいます。このような状況に
おいては、健康長寿の達成
及び持続可能で強靱な
国土と質の高いインフラ
の整備の2つが、注力すべ
き分野になるものと考え
ています。

その他の質問

☆太陽光発電設備について
☆令和3年度浄化槽設置の
補助金について

※SDGsとは・・・

Sustainable Development
Goalsの略。2030年までに
持続可能でより良い世界を
目指す国際目標。



久保 貴洋 議員(倉生会)
学校跡地等の活用
について



Q 閉校となった学校跡地の民間等施設
としての活用の進捗状況について伺
いたい。

A 市長

令和2年8月に策定した個別活用方
針に基づき、活用に向けて地元町会への
説明、民間事業者への対応を行っていま
したが、市としてのそれぞれの学校の利
活用の考え方がまとまりましたので、
8月に民間活用型閉校跡地活用事業公募
型プロポーザルとして進めていく方針を
固めたところです。今後は、プロポーザ
ルの募集要項を確定させ、今年度中に利
活用の条件が整った学校からプロポーザ
ルによる募集をかけていきたいと考えて
います。この事業については、地域の活
性化や市有財産の有効活用につながる大
変重要な事業だと考えて
いますので、市としても
積極的に進めていきます。

その他の質問

☆通学路の安全対策
について



Q 佐野市下水道事業経営戦略における
雨水整備計画として計画されていない
地域でも※内水氾濫が発生するおそれがあ
ると考えるが、対策について具体的な考
えを伺いたい。

A 上下水道局長

計画されていない地域における最近
のゲリラ豪雨などの発生状況を鑑みま
すと、被害が発生する可能性があるもの
と考えており、浸水箇所の状況などを確認
しながら関係部局と連携していきたいと
考えています。

また、道路が冠水しないように対応する
ために、断面の大きな側溝を流末から整備
する必要もあり、流末の施設との調整や排
水区域全体での検討
も必要となります。
冠水が発生している
場所により、それぞ
れ原因が異なるので、
まずは現地調査を
実施していきたいと考
えています。

※内水氾濫とは・・・

市街地に排水能力を
超える多量の雨が降
り、土地や建物が浸
水すること。



小森 隆一 議員(公明党議員会)
誰ひとり取り残さない
弱者を守る災害対策
について

